

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		準決勝																		
日時	2019年8月1日 (木)		9:00 ~ 10:10																	
会場	湿原の風アリーナ釧路Aコート																			
結果	北星学園 札幌	<table border="0"> <tr><td rowspan="5">49</td><td rowspan="5">}</td><td>12</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	49	}	12	—	11	15	—	18	11	—	11	11	—	19		OT		帯広翔陽 十勝
	49	}			12	—	11													
15					—	18														
11					—	11														
11					—	19														
			OT																	
審判	主審 久朗津 義晃 副審 伊藤 浩司・相楽 典子																			

第49回北海道中学校バスケットボール大会



【ボックススコア】

北星学園		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	中野 莉来	×	16	3	2	3	4	3
5	深井 日菜	×	9		4	1	9	3
6	菊原 真悠	×	3	1				3
7	齋藤 紗月	DNP	0					
8	須合 泉月	/	3	1			2	2
9	富樫 咲絵	×	5	1	1		3	2
10	田中 陽菜	×	7	1	1	2	3	
11	磯角 梨々花	/	6		3		4	1
12	宮本 咲絵	DNP	0					
13	野崎 二美乃	DNP	0					
14	柳田 美良来	DNP	0					
15	長 凜華	DNP	0					
16	渋谷 日菜	DNP	0					
17	佐賀 翠	DNP	0					
18	中村 真澄	DNP	0					
HC	小倉 隆也							
合計			49	7	11	6	25	14

帯広翔陽		十勝						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	金尾 美青	×	6	2			3	2
5	野村 美桜	×	13		6	1	10	2
6	山口 真穂	DNP	0					
7	橋本 彩永	×	10		5		2	2
8	太田 彩巴	DNP	0					
9	市橋 令菜	×	21	1	6	6	1	1
10	山崎 莉子	/	0					
11	青田 礼衣	DNP	0					
12	小島 光雲	DNP	0					
13	佐藤 咲桜	DNP	0					
14	菊地 理恋	DNP	0					
15	武田 心花	×	9	3			1	1
16	本間 夏歩	DNP	0					
17	後藤 すず音	DNP	0					
18	天野 莉奈	DNP	0					
HC	川岸 仁							
合計			59	6	17	7	17	8

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

全国大会出場が決まる女子準決勝。札幌北星学園と帯広翔陽の戦い。
 スタートは北星#4、#5、#6、#9、#10、翔陽が#4、#5、#7、#9、#15。Defは両校マンツーマン。北星は序盤から#5のポストプレー、#4の3Pを中心に得点を重ねてペースをつかみかけるが、翔陽は#7の連続ポイントを含むミドルシュートからの得点で流れを渡さない。両チームショットが決まらず12-11と北星1点リードで1Q終了。

2Q開始直後翔陽#7のミドルシュートで逆転するも北星も持ち味の速攻や#4の3Pですぐに取り返す。3分が経過したところで翔陽#9の3連続ミドルシュートでついに同点に持ち込む。流れを変えようと北星は選手交代を行い、トランジションスピードを上げ#6の3ポイントで引き離しにかかる。しかし、翔陽も激しいDefでターンオーバーを誘い、#7の3ポイントや#5のポストプレーで得点を重ねて譲らない。両チームとも決定的なチャンスは作れず、一進一退の攻防が続き、29-27と翔陽2点リードで2Q終了。

スタートメンバー同士に戻り、後半スタート。開始早々北星はDefをオールコートマンツーマンに変えて勝負に出る。しかし、翔陽は落ち着いてプレスダウンを行い、果敢にゴールに向かうことで北星のシュートファールを誘い、フリースローで得点を重ねる。一方、北星は得点のきっかけがつかめず苦しい展開になるが、積極的にオフェンスリバウンドに飛び込み、セカンドチャンスから3Pをつなぐ。4分経過したところで、翔陽は#9の3P、ミドルシュートの連続得点で6点差をつける。たまたま北星は#9に対してフェイスガードを行い、流れを変える。40-38で翔陽2点リードで最終Qへ。

翔陽#9のミドルシュートでスタート。直後に北星#9の3Pが決まり1点差に。その後、再びお互い一歩も譲らないシーソーゲームに。北星はオフェンスリバウンドからチャンスを作るが、得点につながらず、翔陽#5、#4のミドルシュートで引き離し49-43で翔陽リード。4分が経過したところで北星がこの試合初めてのタイムアウト。そこから北星はダブルチームを果敢に仕掛けてターンオーバーを誘う。翔陽の2連続ターンオーバーとなったところで翔陽たまたまタイムアウト。最後まで自分たちのバスケットを貫いた翔陽が59-49で勝利。終盤まで1度もタイムアウトがなく、終始1点・2点を争う全国出場を決めるのに相応しい好ゲームであった。